

仕様書

1 件 名 31 中学校教育用パソコン賃貸借

2 構成内容

機器等構成一覧及び設定等仕様を参照のこと

3 賃貸借期間

2019年11月 1日から2024年10月31日までの60か月とする。

4 契約方法

契約の締結は5年間の複数年契約とし、契約書の様式は本市指定のものとする。

なお、この契約は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の3の規定による長期継続契約であるため、本契約締結日の属する年度の翌年度以降の歳入歳出予算において、この契約に係る金額について減額又は削除があった場合、本市は、この契約を変更又は解除することができる。また、本契約を変更又は解除したことにより損害が生じたときは、本市に対して損害賠償を請求することができる。

5 賃貸借料の支払い

月払いとする。

6 納入場所

神栖市知手 100 番地 3	神栖市立神栖第一中学校	コンピューター室外
神栖市平泉東一丁目 60 番地 1	神栖市立神栖第二中学校	コンピューター室外
神栖市知手中央七丁目 1 番 17 号	神栖市立神栖第三中学校	コンピューター室外
神栖市大野原中央二丁目 8 番 46 号	神栖市立神栖第四中学校	コンピューター室外
神栖市波崎 7070 番地	神栖市立波崎第一中学校	コンピューター室外
神栖市矢田部 3120 番地	神栖市立波崎第二中学校	コンピューター室外
神栖市須田 2340 番地 1	神栖市立波崎第三中学校	コンピューター室外
神栖市土合北一丁目 8 番 10 号	神栖市立波崎第四中学校	コンピューター室外

7 機器納入期限

請負者が責任をもって賃貸借期間の開始前日迄に設置場所へ搬入・設置し、利用可能な状態にするものとする。

なお、発注者の了解を得たうえで、臨時的に代用機器を置くことができることとし、その設置等に係る費用は本契約に含まれるものとする。また、賃貸期間中に本契約機器が故障による修理等のため長期にわたり使用不能となったときも同様とする。

8 試験及び検収

機器設置完了後に総合試験を行い、試験完了をもって検収にかえる。

〈設定等仕様〉

本賃貸借は、納入先各学校のコンピューター室内に設置しているサーバー、児童用パーソナルコンピューター等機器類の更改を行うものである。

1 共通事項

1-1 サーバーについて

- (1) 使用したソフトウェアにおける既知のセキュリティホール対策を施すこと。
- (2) 本システムに於いて、必要ではないサービスは停止すること。
- (3) 障害対策のため、指定の機器を利用し、システム等を定期的にバックアップする設定を行うこと。なお、その方法及び周期等については、別途協議すること。
- (4) アクティブディレクトリを構成し、クライアント毎のユーザーを作成すること。
- (5) ユーザーがアクセス可能な共有フォルダを作成し、ユーザーがログオン時にネットワークドライブとして割り当てを行えるものとする。
- (6) ウィルス対策ソフトは、教育委員会が所有しているトレンドマイクロ製 Client/Server suite ライセンスにより、ウィルスバスターコーポレートエディションをインストールすること。
既存サーバーは同ソフトの管理サーバーとして稼働している。既存サーバーの設定情報を新サーバーに移行し、同ソフトの管理サーバーとして同様に機能するよう設定すること。
なお本サーバーは、職員室校務用パソコンのウィルスバスター管理サーバーでもあるため、校務用パソコンに影響が出ない様、十分に注意すること。なお影響が生じた場合は、復旧を行うこと。
- (7) SKYMENUをインストールし、同ソフトのサーバー機として機能するよう設定すること。
また、既存サーバー上の同ソフトの設定情報及びデータについて、同ソフトの移行機能により新サーバーへ移行すること。
- (8) ジャストジャンプのサーバー機として機能するようインストール及び設定を行うこと。また、既存サーバーのデータを移行すること。
- (9) その他既存サーバーからデータの移行を可能な限り行い、授業に支障のないように既存環境と同様に設定すること。
- (10) 電源は UPS からの給電とする。UPS 管理ソフトをインストールし、商用電源の供給が停止した場合、自動的にシステムが正常終了するよう設定すること。
- (11) 既設のプロキシサーバーを経由し、インターネット接続できるよう設定をすること。
プロキシサーバーの IP アドレス、ポート番号等の詳細情報は受注者に提示する。

1-2 クライアントについて

- (1) セキュリティホール対策として、OSやその他アプリケーションについて、パッチ適用等を行い、最新の状態に更新すること。

- (2) サーバー機で構成するアクティブディレクトリに参加させること。
- (3) SKYMENU, ラインズ e ライブラリアドバンス, ジャストジャンプをインストールし, ソフトのクライアント機として設定すること。なお, 1-4 学内 PC 統一環境維持メンテシステムを除き管理機機能を有するソフトは, 教師用パソコンを管理機として設定すること。
- (4) ウィルス対策ソフトは, 教育委員会で所有しているトレンドマイクロ製 Client/Server suite ライセンスにより, ウィルスバスターコーポレートエディションをインストールすること。
- (5) 既設のプロキシサーバーを経由し, インターネット接続できるよう設定をすること。
- (6) プリンタその他のデバイス等の設定をすること。
- (7) その他, 指定されたソフトウェアをインストールし, 動作環境を整えること。
- (8) 校務用のノートパソコンにラインズ e ライブラリをインストールすること。
- (9) 教師用のパソコンでは DVD が視聴可能にすること。

1-3 ネットワーク及び電源について

- (1) 各機器の LAN 配線, 電源については, 原則, 既設のものをそのまま利用する。ただし, OATap は新規のものに交換すること。また, 電圧測定をし, 負荷分散をすること。
なお, 既設 LAN ケーブル等が損傷等により利用できない場合は, 修繕又は新ケーブルに取り替えること。また, 配線の延長など再配線の必要が生じた場合は対応すること。原則的に現場のフリーアクセス等を利用するが, ケーブルが露出した場合は, ワゴンモール等によりケーブルの保護を行うこと。その際は, 什器及び利用動線に配慮すること。
- (2) コンピューター室内のネットワークについては 1 セグメントとする。各校の詳細なネットワーク情報は, 受注者に別途提示する。

1-4 学内 PC 統一環境維持メンテシステムについて

- (1) 学内のパソコン起動時に環境維持機能が有効となり, 再起動されると起動イメージ状態に戻され環境が維持できること。万が一使用中にウイルス感染した場合でも, 再起動で元の状態に戻されること。
- (2) クライアントパソコンの HDD 又は SSD 内の OS・アプリケーションをイメージ化のままクライアントに配信し運用することが可能なこと。クライアント HDD 内にはイメージ化された OS・アプリケーションで運用し, 万が一 HDD を取り外し他の PC で外付け接続や, 仮想化ソフト等を使用する場合, HDD のファイルなどが閲覧できないようにすること。
- (3) イメージの一斉配信に使用する通信方法は, マルチキャスト, ブロードキャストが選択できること。
- (4) 管理機にクライアント PC のイメージを格納しクライアント環境において設定変更が発生した際に, 管理機内のイメージを更新することで全てのクライアント PC の設定を自動で統一環境にするシステムであること。
- (5) 差分配信は, 管理機からの Push 型ではなくクライアント側からの Pull 型で実行することでネットワーク帯域に影響を及ぼさない設計となっていること。
- (6) ローカル SSD 内のイメージから起動を行うシステムであること。
- (7) クライアント PC の端末固有情報以外同一情報をもつ端末のメンテナンスは一つのイメージで管理機から一元管理できること。

- (8) 管理機には、運用によって複数のイメージが登録でき、簡単な操作で配信イメージを切替えられること。
- (9) 導入するアプリケーションソフトが、ハードディスクで通常にインストールして運用する方法と変わりなく、全て支障なく動作すること。
- (10) ディスクに書き込まれたデータは再起動によってクリアされるが、推奨ウイルス対策ソフト等のパターンファイルが保持できる領域が作成できること
- (11) 通常使用時は、管理機はシャットダウンしていてもクライアント PC が起動し使用できること。
- (12) 起動時のメニューで、復元するモードのみ表示・復元しないモードのみ表示/復元するモードを優先表示・復元しないモードを優先表示など、管理ツールから一斉操作が可能なこと。また、クライアント側単独でも設定が可能なこと。
- (13) イメージの更新は、更新専用クライアントコンピューターから行い、管理者以外が操作できないように、イメージ変更プログラムにパスワードなどのセキュリティが施せること。尚、作業中であっても他のクライアントパソコンについては使用が可能なこと。
- (13) 更新の対象となるクライアント PC がそろっていなくても更新用 PC1 台で更新作業が完結できること。その他のクライアントは電源を入れれば自動的に更新内容を差分で受信すること。また、更新対象 PC が修理中などの理由でその場になかった場合は所定の場所に戻った際にはクライアント PC を起動するだけで、自動にて更新差分の受信が行われること。
- (14) 管理コンソールから、すべてのクライアント PC の更新バージョンが確認でき、差分の受け取りが完了できていないクライアントがないか確認できること。
- (15) イメージ配信は、フル配信と差分配信どちらも可能であること。
- (16) イメージ更新作業についてはサーバ等の操作をすることなく更新用のクライアント端末ですべて完結可能なこと。
- (17) 更新作業に際してイメージ毎に自動的にハードディスク容量の許す限りいくつでも（月に 1 回更新するとして年間 12 個×使用年数以上の）復元ポイントが作成されること。また、復元ポイントは更新作業毎にポイントが作成され更新作業において不具合があったときにはいつでもどの復元ポイントにもロールバックできること。また、各クライアントへのロールバックもパソコンの電源を投入するだけで自動で行えること。
- (18) 管理ソフトは OS 上で簡単に操作できること。また、完全日本語対応になっていること。
- (19) リモートでの電源操作が個別、複数、全台で行えること。
- (20) タスクスケジュール機能によりクライアント PC の起動時間・再起動時間・終了時間が設定できること。
- (21) 時間設定によりクライアント PC が更新差分の自動受信を行わない時間が設定できること。
- (22) 曜日、時間などを指定でき、無人で差分配信ができること。
- (23) 管理機が故障した場合に、更新用クライアント PC またはその他のクライアント PC 全てがイメージのバックアップ機器となり、速やかにイメージ復旧ができること。
- (24) 管理機はサーバ OS ではなくとも動作可能なこと。（サーバを必要としないシステムであること。）
- (25) Windows 及び MicrosoftOffice のライセンス認証は MAK 認証・KMS 認証のどちらにも対応したシステムであること

1-5 その他の機器について

(1) プロジェクタ

- ・天井吊り下げにより設置すること。ケーブル、電源類は現賃貸借機器用の既設配線を引き続き利用する。既設配線の種類は下記のとおり。

- (a) ミニ D-Sub 15 ピン

- (b) 電源コード (100V)

再配線等の作業が必要となった場合は、対応すること。その場合、配線は天井配架とする。

- ・教師用クライアントの画面を投影できるようにし、音声は据付のスピーカーから出力できるようにすること。

- ・スクリーンについては、既存のものを利用する。

1-6 機器の設置について

今回賃貸借する機器類は、基本的に、それぞれ既存機器の設置場所又はその付近に入替設置する。

(1) 賃貸借機器は、受注者が責任を持って、指定する場所に設置すること。

なお、既存機器の撤去は、本業務に含まない。

(2) サーバー及びサーバー用 UPS、教師用クライアントは、既設の教師用机の下部に、業務の支障の無いように配置すること。詳細な設置位置は市教育委員会及び設置施設と協議すること。

(3) 児童用クライアントは、市教育委員会及び設置施設と協議のうえ設置すること。

(4) その他、プリンタ及びネットワーク機器等は、指定する場所へ設置すること。

(5) 機器については、すべて管理ラベル（受注者名・管理番号、賃貸借期間等を記載したもの）を貼り付けること。様式は受注者に別途指示する。

1-7 研修について

(1) 機器の導入完了後、各設置校において、設置校の教職員を対象に、機器の取扱・基本操作方法等の導入研修を実施すること。実施日程については、別途調整のうえ定めるものとする。

(2) 前号のほかSKYMENU及びジャストジャンプ、ラインズeライブラリアドバンスについて、それぞれのソフトウェアの操作研修を、教職員を対象に、賃貸借期間内に2回以上開催するものとする。実施日程については、別途調整のうえ定めるものとする。

(3) 研修時に使用する資料等は、受注者において用意すること。

(4) 研修時以外においても、教職員からの質問等に対応できる体制をとること。

2 賃貸借機器の保守

(1) 賃貸借機器に障害が発生した場合、授業に支障のないよう速やかに対応できる保守体制を完備すること。

学校又は市教育委員会から連絡があった当日又は翌営業日以内に、訪問等による一時切り分け作業を実施できること。なお、16:00 までの連絡は当日対応とし、16:00 以降については翌営業日対応とする。

(2) 賃貸借機器に障害が発生した場合、機器の修理、設定回復等を行い、正常な状態に復旧させること。機器の障害がソフトウェアに起因する場合や、機器修理時に必要とする場合は、導入

されているソフトウェア及びその設定の回復を行うこと。この対応については無償とする。ただし、機器の修理にあたり、メーカー保証対象外の有寿命部品交換など、メーカーによる有償修理が必要となる場合、その費用については、本契約とは別途に支払う。

3 賃貸借満了時の取扱

- (1) 賃貸借機器については、賃貸借期間満了後、返却する。返却の際は、データが記録されていることが想定される機器については、受注者においてデータを復旧不可能な状態に消去し、それを証明できる資料を市教育委員会へ提出すること。
- (2) 撤去、搬送、データ消去費等、返却に係る全ての費用は、受注者の負担とする。
- (3) 本賃貸借契約期間満了後、賃貸借機器に保存されているデータを、次回整備する機器へ移行する際、円滑に実施できるよう協力すること。

4 提出書類について

- (1) 納入物品一覧表
設置先学校名、メーカー名、型式のほか各製品のシリアル番号についても明記すること。
- (2) 機器配置図
学校ごとに、コンピューター教室内の機器配置が判別できるよう作成すること。
- (3) 機器配線図
学校ごとに、コンピューター教室内の電源線、通信線、その他の制御線など全ての配線図を作成すること。この際、既存のネットワーク及び機器を含めること。
- (4) 機器の設定及び操作マニュアル
サーバー、クライアント及びソフトウェアの設定情報及び既存の設備を含めたネットワーク体系の一覧を作成するほか、運用に必要となる操作マニュアルを、それぞれ紙及び電子データで作成し、教育委員会と各校へ提出すること。
- (5) 保守体制表
保守対応の連絡先等を明示し、市教育委員会と各校へ提出すること。

5 守秘義務

- (1) 受注者は、本事業の実施に関し知り得た事項について、他に漏らしてはならない。また、市の許可を得ずに、複製、改変してはならない。
- (2) 受注者は、この契約における業務に従事している者に対し、在職中及び退職後において、作業上知り得た事項の秘密保持義務を遵守させるよう必要な措置を講じなければならない。
- (3) 上記の規定については、本事業を完了し、又は解除した後であっても、なおその効力を有するものとする。
- (4) 本業務のため市から提供された情報等については、業務完了後、速やかに市に返還するか、市の指示に従い処理するものとする。
- (5) 本事業の一部を第三者に委託して実施させる場合は、当該者は受注者と同様の秘密保持義務を負うものとする。
- (6) その他、神栖市情報公開及び個人情報保護に関する条例等関係法令を遵守すること。

6 付帯事項

- (1) 機器納入時の荷造り，運送据付工事及び現地調整に要する費用は納入業者が負担すること。
- (2) 引渡を要しない発生材は，全て学校敷地外に搬出し，関係法令に従い適切に処理を行うこと。
- (3) 本事業の一部を第三者に委託して実施させる場合は，事前に市教育委員会の承諾を得ること。
- (4) 受注者が学校敷地内で作業を行う際は，事前に市教育委員会及び当該校に連絡すること。

作業に際しては，児童等の安全管理を十分学校と協議し，事故のないように十分留意すること。

また，市教育委員会及び当該校の指示に従い，学校の執務に極力支障を及ぼさないようにすること。

なお，学校敷地内に入る際は，社員証等名札を着用し，その身分を明らかにすること。

- (5) 機器の初期不良または納品，設置，設定の不備に起因する機器の障害があった場合は，受注者の責任において，当該機器を速やかに障害以前の状態に復旧させること。
- (6) 受注者の瑕疵により発生した損害のため必要を生じた経費は，受注者が負担すること。(第三者に及ぼした損害を含む)
- (7) 導入機器のメーカーへのユーザー登録，製品登録等を行い，製品のメーカー保証を受けられるよう手続きを行うこと。
- (8) その他，本仕様書に明記されていない事項及び業務内容に疑義が生じた事項については，学校及び市教育委員会と協議のうえ決定すること。